

緊急学習講演会

福島第一原発事故を考える

東北太平洋沖地震と大津波は、福島県に集中立地する原子力発電所を破壊し、炉心溶融、水素爆発など重大な事故が発生しています。テレビや新聞はこの事故を連日、大きく報道していますが、果たして肝心の所が伝えられているのでしょうか。

- ◇ 電力会社は絶対安全と言っていたのに、どうして大事故が発生したの？
- ◇ 原発ってどんな原理？
- ◇ 炉心溶融って何が起こった？
- ◇ 放射能、放射線の危険は？
- ◇ チェルノブイリ事故みたいにならないの？
- ◇ 汚染食品は食べてはいけないの？
- ◇ そもそも日本に原発は必要なの？
- ◇ 若狭湾にも原発がたくさんあるけど大丈夫？



黒っぽい煙が上がった福島第一原子力発電所3号機
(3月21日午後4時10分ごろ、東京電力提供)



日本科学者会議大阪支部は、こうした皆さんの疑問、不安に答えるため緊急の学習講演会を企画しました。市民と科学者がひざを交えて、ともに考えていきましょう。

日時：3月29日(火)午後6時30分～

会場：大阪民医連会議室

(地下鉄「堺筋本町駅」下車、左図参照)

話題提供：岩本智之

(日本科学者会議、元京都大学原子炉実験所)

参加無料：少額の資料代を申し受けます

問い合わせ先：日本科学者会議大阪支部

(06-6373-0051)